

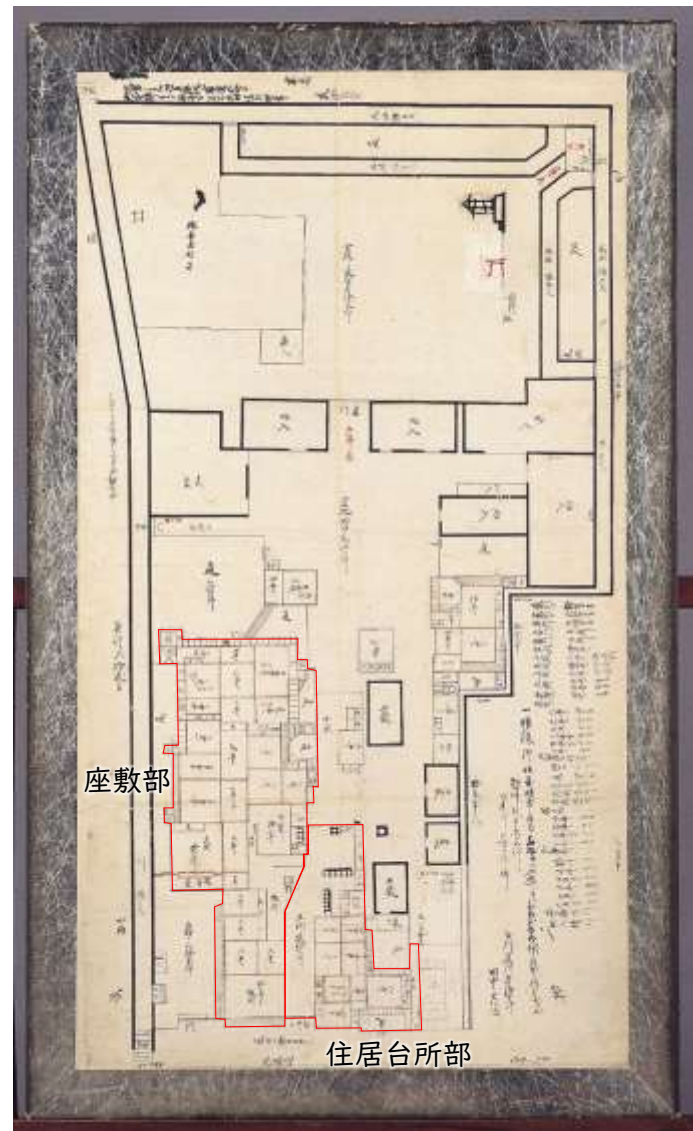
国指定史跡 草津宿本陣特別公開

東海道と中山道が分岐・合流する草津宿には、2軒の本陣が置かれていました。2軒の本陣は「七左衛門本陣」、「九蔵本陣」と呼ばれていました。

そのうち「七左衛門本陣」は、江戸時代の敷地割と多くの江戸期の建築物が良好に残され、我が国の近世交通史を知る上で重要な歴史資産であることから、昭和24年に国の史跡に指定されました。

その後、平成元年度～平成8年度にかけて保存修理工事を行い、一般公開を行ってきました。

このたび、一般公開を行ってきた建物（座敷部・住居台所部）を地震等による被害から守るため、耐震補強工事を進めています。



「寿明宮入輿二付差出絵図」
嘉永2年（1849）



「寿明宮入輿二付差出絵図」
嘉永2年（1849）翻刻図

耐震補強の対象となった、座敷部・住居台所部は、移築してきた建物などを組み合わせ、増築などを行い、その上に屋根をかける形で造られています。街道から向かって左側に休泊者のための座敷部、右側に本陣職家（田中家）の住居台所部があり、その奥には厩や土蔵などが立ち並んでいます。



過去の整備の様子
(座敷部の小屋組みの様子)



協力

守建設(株)
鈴木古建築(株)
(有)津田左官工業所
(株)環境事業計画研究所

草津市歴史文化財課

〒525-8588 草津市草津三丁目13番30号
TEL：077-561-2429
FAX：077-561-2488
E-mail：bunkazai@city.kusatsu.lg.jp

江戸時代の絵図によると、表間口14間半（約26.1m）、奥行62間（約111.6m）、屋敷地1,305坪、建坪468坪と記載され、現存する本陣としては最大級の規模を誇るものです。